

関西聚 活動報告書



(活動名：環境フェスタ in 交野 2018 活動日：2018. 3. 11 (日))

リーダー名：	報 告 者： 大川 英登
参 加 者：(スタッフ 4 人 参加者 200 人以上)	
スタッフ：伊東、東川、岩崎、大川	
参加者： 交野市及び周辺の市の住民 (枚方市、東大阪市…)	
3月11日(日)の活動内容	
① 聚の広報活動 (GS 検定チラシ、聚のチラシ、交野市森・南星台フィールドのチラシ 100 部)	
② PC とファイバースコープを使ったセミの卵の観察、植物写真のスライドショー	
③ タラヨウの葉を使った手紙の体験など	

活動報告・感想など

環境フェスタ来場者は事務局の発表では **3000** 人を超えたそうである。毎年 **3000** 人を超しており市民に受け入れられたフェスタとなっている。

屋内屋外 **30** 以上のブースが設置され、各々環境に対する取り組みが展示されており、最新の状況、今までに知らなかった知識を得ることができました。ブースによっては種々のお土産も配布されており来場者に喜ばれたようである。

又ステージでは河内音頭、エイサーダンス、チアダンス、太鼓の演技なども披露され、見事な演技に大喜びの拍手喝采を浴びていました。

◎森、南星台フィールドは交野市の地元であるが、地元メンバーがいないので地元住民の参加が絶対必要である旨を訴求した。二つのフィールドについて詳細を説明し勧誘を図った。数人はいい感触を得たが参加を期待したい。壇上で岩崎メンバーより聚の紹介もしてもらった。

◎セミの卵の観察は大人も子供も興味津々で驚くケースが多かった。又セミの一生についても解説し、納得いただいた様子でした。いまだに卵は地面に産むものだと思っている大人も結構いました。植物写真スライドショーは数人の方に興味を持ってもらった。

◎タラヨウを使ったハガキの解説では文字が浮き出るその不思議さに驚きの様子でした。数人は知識のある方もおられました。

今回もチラシの配布と説明、フィールドの説明と勧誘、セミの卵の観察などを実施しましたが聚のブースにも休むことなく多くの来場者があり、その説明に追われかなり大変でした。今回はスタッフ4名だけでしたので交代要員にあと二人は欲しいところです。多くの人に接し疲れはありましたが有意義な一日となりました。

開催時間は **9 時～16 時** でした。

活動写真

		
せみの卵のお話	セミはどこに卵を産むのかな	交野市の木はなあに？
		
壇上で聚の紹介	葉書の木	***
***	***	***
***	***	***

🌸 たくさんのご参加、ありがとうございました！

※ブラウザを閉じてお戻りください☆